

中学校3年・特別活動

「ラスト5か月を見据え、目的地から学級づくりを考えよう」

学級活動（1） 学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

活用したソフトや機能：学習支援ソフト 表計算ソフト

〈ICT活用のポイント〉

◎学習支援ソフトを活用し、① アンケートの実施・集計、② チャットによるアイデアの出し合い、③ プレゼンテーションソフトの共同編集を利用した意見交換・話し合い、④ 表計算ソフトの共同編集による一覧表の作成を行った。

1 議題について

（1）生徒の実態

本学級は、男女ともに元気な生徒が多く、仲間のよいところを言葉として伝えることもできる。昨年度から継続しているペアトークやグループトークの影響が大きいと考える。また、自分自身の弱さや生きづらさを考え仲間と共有する授業を通して、仲間の新たな一面を知ることができたことで、今の雰囲気に繋がっていると考えられる。

（2）議題選定について

学園祭が終わり中学校生活も残り5か月程度となった。生徒は、卒業までに学級目標を達成するためには、これまでの学校生活を振り返り、具体的な目標が必要だと考えている。

学級では、「自分たちの学級は自分たちで創る」という言葉が定着してきた。この活動を通して、学級の目的地を再確認し、逆算しながら道筋を作ることで、卒業までの生活を充実させる方法の合意形成を図る。課題ばかりに目を向けるのではなく、自治的能力や学級の強みを生かした取組や考え方（解決志向アプローチ）ができるようにしたい。

2 学級活動（1）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>学級や学校生活の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。</p> <p>合意形成のための手順や活動の方法を身に付けている。</p>	<p>学級や学校生活をよりよくするための課題を見いだしている。</p> <p>課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。</p>	<p>学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとする。</p>

3 本時までの活動の流れ

(1) 事前の指導と生徒の活動

活動の場面	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】（評価方法）
9月28日 学級活動 放課後	学園祭の① <u>振り返りアンケートの実施</u> （学習支援ソフトの活用）	・成果や課題を客観的に観ることができるよう に指導する。また、できる限り具体的に答えるように支援する。	◎学園祭を振り返り、自分の言葉でアンケートに答えている。【主体的態度】（アンケート）
10月6日 検討委員会 放課後	① <u>アンケートの結果の確認</u>	・学級の現状と目的地を的確に捉えるように助言する。	◎成果や課題を見いだしている。【思考・判断・表現】（観察）
10月7日 検討委員会 放課後	学級会の進め方についての打ち合わせ	・役割分担や活動の流れを検討し活動に見通しが持てるように助言する。	◎話合いに必要なことを理解している。【知識・技能】（観察）
10月8日 学級活動	② <u>アンケートから学級として成長したことや、よさについて考える。</u>	・成果（よさ）に注目をさせるように助言する。	◎主体的に話合いに参加している。【主体的態度】（観察）

(2) 本時の指導と生徒の活動

	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】（評価方法）
導入 5分	1 あいさつ・開会の言葉 2 議題の発表・確認 ○本時の目標を提示する。		
	ラスト5か月を見据え、目的地から学級作りを考えよう。	・学級役員で検討された過程を示し、本時の議題を学級全体に伝える。 ・アンケートの結果から、学級の現状や目指すべき姿を伝える。 ・活発な話合いになるような雰囲気作りをする。 ・話合いの視点や話し合い方にも触れる。	
	3 教師の話聞く		

<p>展開</p> <p>35分</p>	<p>4 話し合い</p> <p>(1) 戦略シートの確認をする。</p> <p>(2) 目指す具体像(目的地)とそのための具体的方法(道筋)を考える。</p> <p>○③ <u>プレゼンテーションソフト上のクラスアップシートを用いて話し合いを展開する。</u></p> <p>○グループごとの意見を発表した後、全体でまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに入る前にこの戦略シートの見方についての確認を行う。 ・話し合いは基本的に、4段階討議法(出し合う→出し合う→比べる→まとめる)を活用する。 ・話し合う内容の順序を間違えないようにする。 ・共同編集が行えるようにしておく。 ・話し合いが滞ったときや、方向性が逸れそうなどときには助言する。 	<p>◎積極的に自分の考えを発表するとともに、他の考えに共感したり、意見を述べたりすることができる。【主体的態度】(観察)</p>
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>5 決定事項の確認</p> <p>6 <u>④ 自己評価と自分の努力点の記入(学習支援ソフト内の表計算シートに記入)</u></p> <p>7 教師の話聞く</p> <p>8 閉会の言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを要約して、はっきり伝えるようにする。 ・決定事項を踏まえて今後個人としては、どのように取り組むのか考えさせる。 ・今後の生徒が自主的に活動できるよう励ます。 ・話し合いの内容や様子を振り返り、良かった点や反省点を話す。 	<p>◎話し合いで決定したことを今後どのように生かそうとするか考えている。【思考・判断・表現】(観察、ワークシート)</p>

(3) 事後の指導と生徒の活動

活動の場面	生徒の活動	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
<p>10月13日</p> <p>～</p> <p>10月20日</p>	<p>決定事項の取組を実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級で決めたことを守って、自主的に活動させるよう助言する。 	<p>◎当事者意識を持って活動を行うことができる。【主体的態度】(観察)</p>

10月21日	前時の話合いの内容や取組の成果を踏まえ、合唱発表会に向けての目的・目標・約束事について話し合う。	・目指す学級像に近付けることができるための目的や目標、約束事を決めることができるよう指導する。	◎理想の学級像も踏まえ、見通しを持って、主体的に話合いに参加している。【主体的態度】(観察)
--------	--	---	--

4 ICTの効果的な活用について

今までの話合い活動では、時間の制約から、発表できる生徒の人数が限られたり、班でまとめた結果だけを全体で共有したりすることが多かった。今回、話合い活動で、プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの共同編集を活用した結果、短時間に多くの考えに触れることができた。

C1 (発表や話合い)

① 振り返りアンケートの実施、アンケートの結果の確認

自動集計された結果を、すぐに話合いの資料に活用できた。(まとめる)

③ プレゼンテーションソフト上のクラスアップシートを用いて話合いを展開する。

プレゼンテーションソフト上に、班ごとのシートを用意し、話し合いながら考えた意見を打ち込んだ。共同編集を可能にすることで、意見の共有や比較がしやすくなった。(出し合う・比べる)



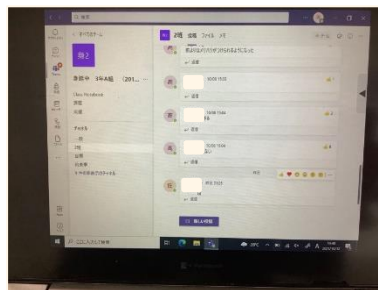
入力と同時に
共有が可能



C2 (協働での意見整理)

② アンケートから学級として成長したことや、よさについて考える。

チャット機能で、アイデアを出し合い、リアクションボタンで反応を返した。(出し合う)



④ 自己評価と自分の努力点の記入(学習支援ソフト内の表計算シートに記入)

表計算ソフトで、感想と自分自身の努力点の記入を行う。他者の考えを共有しやすくなる。

5 学級活動（1）について

学級活動（1）では、生徒が見付けた学級や学校生活の諸問題の中から議題を選定する。議題とした課題を解決するために話し合い、その原因や解決方法を出し合い、比べ合い、合意形成を図る（出し合う→比べ合う→まとめる（決める））という学習過程が、学習指導要領で例示されている。また、決めたことを実践し、定期的に振り返ることで、意識化を図ったり、新たな課題の発見につながったりすることが大切である。

今回の実践では、学園祭後の振り返りアンケートをきっかけに、卒業時に学級目標を達成するための道筋を考える話し合いを行った。授業の展開部では、学習過程の例示を参考に「出し合う→出し合う→比べる→まとめる」の4段階討議法で話し合いを進めた。

また、話し合いでは、ICTを積極的に活用することで、話し合う時間を確保したり、より多くの生徒の意見を共有したりすることができた。



【参考資料】

クラスアップシート					
<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ゴール</div> <div style="text-align: center;">↑</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> クラスの強みと 努力点 </div> <div style="text-align: center;">↑</div> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;">今の現状</div>	①目指すべき理想像				
	③具体的な姿				
	④具体的な取組み				
	②今の現状				